

4年分科会 研究構想図

【これまでの研究の成果 (○) と課題 (●)】

- 新学習指導要領における新単元の教材開発
 - ・くらやみ祭り、国際交流が盛んな地域—大田区
- 学習問題づくりや学習計画を立てる活動の充実
- 教材開発に多くの時間を使うことで、学習活動や評価について検討する時間が確保できない
- 児童自ら資料を用意したり、子供同士で考えを深めたりする「主体的・対話的で深い学び」の実現のさらなる充実

【4年社会科の課題 (◆) と方向性 (◇)】

- ◆児童にとって身近な事例と扱うことを優先することで、学習対象が東京都まで広がらないことがある
- ◆児童が用意する資料は児童には難しく、活用できない
- ◇児童の主体的な学びを意識した授業デザイン（問い・学習活動）の充実
- ◇「いかす」段階における選択・判断の学習活動の充実
- ◇見通しと振り返りの充実

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～

目指す子供像

自分たちの暮らす東京都への理解を基に、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考え、東京都のこれからの考えようとする子供

研究の仮説

自分たちの暮らす東京都への確かな理解につながる教材・問い・学習活動・評価の工夫をすれば、児童が社会的事象の特色や相互の関連、意味を考え、東京都のこれからの考えようとする子どもが育つであろう。

研究の内容

見方・考え方を働かせて 主体的に追究する問いの設定	見方・考え方を働かせる 学習活動の工夫	子供の学びを確実にする 評価の工夫
○問いの分類と連続性や構造化 ・基礎研究 「問いとは？」の作成 ・問いの連続性や構造化	○社会の課題解決への構想と選択・判断する学習活動の工夫 ・基礎研究 「選択・判断とは？」の作成 ・「いかす」における選択・判断の学習活動	○学習の見通しと振り返りの工夫 ・基礎研究 「見通しと振り返りとは？」の作成 ・振り返りシートの活用
教材開発や教材分析の視点		
○東京の良さを再認識し、都民の誇りがもてる教材の開発		
○社会的事象を捉える時間的、空間的、相互関係的な視点から教材を分析		
○人間の働きに着目して人々と生活の関連に共感的に迫る教材の開発		
○社会の課題を捉え、発展やかかわり方を考えることにつながる教材の開発		